

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価 (中間)		学校関係者評価 (10月26日実施) (3月10日実施)	総合評価 (3月31日現在)		
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1	教育課程 学習指導	<p>①新学習指導要領に基づき、生徒の状況やニーズに応じた教育課程の編成、検証及び改善に取り組む。</p> <p>②組織的に授業改善に取り組み、意欲や目標を持って主体的に学び考える力を育成する。</p>	<p>①新学習指導要領が年次進行で実施されたことを踏まえ、生徒の資質・能力を高める支援をしていく。</p> <p>②教員相互の日常的な学び合いを通して授業力を高めるとともに、課題解決力を伸ばすための授業実践に引き続き取り組む。ICTも利活用しながら、生徒の興味・関心を引き出し、生徒が主体的に学び考える授業に学校全体で取り組む。</p>	<p>①選択科目説明会等において、生徒の状況や進路に応じた選択ができるよう、一人ひとり丁寧な支援を実施する。</p> <p>②授業見学のワークシートの改良や、見学月間を設けるなど、教員同士が日常的に学び合いができる環境を整える。課題解決力を伸ばすための授業について、教科の枠を超えた研究にも取り組み、情報を共有しながら学校全体で取り組む。</p>	<p>①生徒が選択科目を選ぶ際に進路に応じた選択ができたか。</p> <p>②日常的に教員同士が授業見学をしたり、学び合ったりすることができたか。</p> <p>③授業研究に関する研修会を実施し、生徒が主体的に学び考える授業ができたか。</p> <p>④指導主事等助言者を招き、公開授業研究会を実施することができたか。</p>	<p>①選択科目説明会において、教科等と連携しながら、生徒が自分の進路選択をできるように実施した。</p> <p>②授業見学のワークシートを改良し、生徒に着眼した授業観察をすすめていくこととした。外部講師を招いたワークショップを開催し、教員同士が日常的に学び合いを行う環境を整えつつある。</p>	<p>①選択科目を決定したあとに変更を申し出る生徒がいる。</p> <p>②第2回授業研究会に向けて、授業見学だけでなく、学び合いの機会を増やしていく必要がある。</p> <p>③生徒の学びに着眼した授業見学をとおして、生徒が主体的に学び考える授業についての議論や授業実践を今後どのように継続していくかが課題である。</p>	<p>・生徒が素直で、教師との信頼関係があり、クラス全体で安心して学びあえる環境ができている。</p> <p>・対話や会話の場面が多く、生徒が楽しみながら学習している。</p> <p>・ユニバーサルデザインがちりばめられておりよい。</p> <p>・学習が困難な生徒は一定数おり、その生徒たちにどのような配慮をするかが大切である。</p> <p>・授業改善は、日常にどう反映されているのかが問題となる。</p> <p>・教員同士の他校種の交流の機会がもっとあるとよい。</p>	<p>①選択科目説明会において、教科等と連携しながら実施した。しかし、選択科目を決定したあとに変更を申し出る生徒がいることが課題である。</p> <p>②授業見学におけるワークシートを改良したり、外部講師を招いたワークショップを開催したりしたことで、生徒に着眼した授業観察をすすめていくことができた。教科の枠を超えて行ったことで、教員同士が日常的に学び合う環境が整ってきたと考える。生徒に着眼する意義や理解をさらに深め、「主体的・対話的で深い学び」の授業の実現に向けた研究会の実施が課題である。また、ICTや一人一台端末の利活用を進めていくことが課題である。</p>	<p>①選択科目説明会の前後で、自分の進路をよく考える場を設けていく。</p> <p>②今後も「生徒に着眼した授業見学」を続け、生徒の課題解決力を伸ばし、主体的・対話的で深い学びの授業の実現に向けて、研究会を実施していく。また、一人一台端末を活用した授業について、個人だけでなく、学校全体で取り組んでいく。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①新羽生としての自立と自律を促し、誇りと自覚及び積極的に能動的な態度を持つ生徒を育成する。</p> <p>②生徒がルール・マナーなど社会規範を遵守する意識を持ち、安全かつ安心して学べる学校づくりを推進する。</p>	<p>①近年、コロナ禍で実施ができなかった行事等を、安全に配慮しながら実施する。</p> <p>①学校での活動を活発化するため、部活動加入率50%を目標に体制を整える。</p> <p>②生徒の自己管理能力を高め、安心・安全な学校生活と、希望する進路の実現につながる生徒支援・指導を実施する。</p>	<p>①実施可能な活動を早めに設定し、計画的に企画、運営を行う。</p> <p>①部活動紹介を充実させ、勧誘活動を積極的に行う。また、顧問が生徒に関わることができる時間の確保を行う。</p> <p>②学校生活におけるルールやマナー等を生徒に周知徹底する。職員の指導力の向上を進め、生徒ひとり一人に丁寧な支援と指導を実施する。</p>	<p>①安全に配慮し、生徒の主体性を育む行事を計画し、実施することができたか。</p> <p>①部活動紹介から部総会までの流れを整理し、新入生の加入率が50%を超えたか。</p> <p>②特別指導件数及び交通事故件数が昨年度よりも減少したか。また、外部からの指導に関する情報提供や苦情が減少したか。</p>	<p>①体育祭及び文化祭について、現在の状況でできる範囲内での実施ができた。</p> <p>①新学年と連携して入部を呼びかかたことにより1学年の加入率が上がり、全体でも昨年度に比べ上昇し、46%となった。</p> <p>②ルールやマナーについてポスターや声かけ等を実施し周知した。生徒一人ひとりに丁寧な支援と指導を全職員で行った。前年に比べ、指導件数が増加した。</p>	<p>①体育祭の応援団など復活できない内容もあったので、今後どのようにしていくか検討が必要である。</p> <p>①現在、部活をやめてしまった生徒もあり、どのように継続させていくか課題である。</p> <p>②特別指導件数、その他支援件数等、昨年同時期より増加した。より丁寧で時間をかけた指導と支援により、アンケート以外の情報収集が円滑に広く実施されたことによると考える。件数増加で対応の質が低下しないよう職員のスキルアップを更に進める。</p>	<p>・文化祭は3年振りとのことだが生徒が笑顔で取り組みよい文化祭であった。</p> <p>・学業や研究の成果、部活動の発表がもっとあるとよい。</p> <p>・部活動に入っていない54%の生徒がどのような生活をしているのか気になる。</p> <p>・歩き方や自転車の乗り方について、指導をしてもらいたい。小中高でやっていく必要がある。</p>	<p>①年間を通して予定していた行事を行い、発展させることもできた。今後、以前の形態にどのように戻していくかが課題である。</p> <p>①1学年の部活動加入率が上がり、全体でも昨年度に比べ上昇し、46%となったが、退部する生徒も多く、どのように継続させていくか課題である。</p> <p>②特別指導件数及び交通事故件数は前年度より増加した。より丁寧な指導と支援の実施により、生徒の規範意識が向上し生徒からの情報提供がスムーズにおこなわれ、対応件数が増加したことによると考える。登下校時の交通安全、公共でのマナーの徹底について課題である。</p>	<p>①行事の来校者の幅を広げ、それに向けた対策をしっかりと検討していく。また、文化祭での調理を行うか検討し、安全面での管理対策をしっかりとる。</p> <p>①中学生に向けた部活動見学もしくは体験を充実させる。</p> <p>②職員の生徒支援(指導)のスキルアップを更に進めるための研修会を実施し、生徒と職員のより良いコミュニケーションから始める声掛け指導の工夫を行う。</p>

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価(中間)		学校関係者評価 (10月26日実施) (3月10日実施)	総合評価(3月31日現在)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①激動する現代に適應できる人材の育成を図る。 ②生徒が目標を持ち、基礎的・汎用的能力の育成を通して、希望する進路を実現する意識の向上を図る。	①生徒の希望に合った進路の実現を図る。 ②授業やガイダンスなどを有効活用し、自己実現に向けた目標の設定を行わせる。	①進路希望調査や分野別ガイダンスを実施し、生徒の希望の把握とその実現に向けた指導を行う。夏休みのインターンシップや面接練習に積極的に参加させる。 ②授業やガイダンスなどを工夫し、自己実現に向けた目標の設定を行わせる。	①生徒の希望に沿った進路実現を果たすことができたか。 ①インターンシップや面接練習に参加することができたか。 ②生徒が自己実現に向けた目標設定をすることができたか。	①県主催のインターンシップに28人の生徒が参加した。(前年度2人) ①全職員による面接練習には、170人の生徒が参加した。 ②1年次で職業ガイダンス、3年次で、年3回の進路希望に応じた分野別ガイダンス・学校別ガイダンスを行った。	①コロナ感染の第6波が到来し、飲食関係、医療・保育分野を中心にインターンシップを中止にする事業所が多かった。(希望者45人中17人中止) ②来年度は1・2年次生に対しても、進路ガイダンスの回数を増やして実施したい。	・学歴が全てではない。本人が得意とすることを見抜くことが大事である。 ・卒業生の活躍は、在校生の誇りとなるので、新羽から様々な面で活躍できる人材を輩出してもらいたい。 ・大学生も「自分事」は強いが「地域、社会、未来」が弱い。自分の関心事がグローバルにどうつながっているのかを考えられようになるとよい。	①4年制大学進学割合が3年連続で増加し、今年度は4ポイント以上増加した半面、進路未定者(フリーター)が11人もいた。 ②就職希望者全員が就職をすることができ、看護系希望者も全員が看護系に進学できた。 ③指定校推薦において、被推薦者が辞退を申し出てきたケースが複数件あった。 ④神奈川大学との高大連携が形としてできていなかった。	①来年度は1・2年次生に対しても、進路ガイダンスの回数や進路探究活動を増やして、低年次から進路意識を向上させていく。 ②就職指導、看護系指導の手厚さが本校の売りなので、このサポート体制を継続する。 ③指定校推薦は、辞退できない入試なので、安易に希望を出さないように指導していく。 ④来年度からは、1学年生徒全員で神奈川大学見学を実施し、模擬授業を受け、連携を強めていく。
4	地域等との協働	地域に開かれた学校づくりをいっそう推進するとともに、学校行事等の発信等を通じて、地域から信頼される学校づくりを強化する。	本校の取組や学校行事を全公立展や学校説明会等を通じて広く発信する。 学校説明会を全職員で取り組む働きかけをする。 学校連絡協議会を通じて、地元の皆さんへ更なる本校の紹介をする。	グループ内において研修会を行い、管理グループ主導で行う努力をする。 学校説明会や学校見学において、本校独自の特色を創意工夫して、より多くの受験生に浸透できるようにする。(ドローンの活用等)	より多くの中学生とその保護者の来校やアクセス数が昨年度よりも増えたか。 学校運営協議会委員を通じた広報を行うことができたか。	夏季休業中には4日間計8回学校見学会を設定し、丁寧に説明することが出来た。(参加約400組) 第1回学校説明会において、250組の来校者を迎え、模擬授業、部活動体験、個別相談等を行った。 今年度学校案内パンフレットや学校紹介映像は、これまでのものから一新しより分かりやすいものを作成した。	ここ数年、学校見学者が増え、今後も本校の特色を明確に中學生へ伝える工夫に務めたい。 学校説明会の内容について、学校見学者が、実際どれくらい受検しているかの客観的な数字を基に、来年度の学校説明会内容を精査したい。	・地域とのコミュニケーションを大事にして、地域との行事の引継ぎをしっかりとしてもらいたい。 ・サマーフェスや防災訓練など、地域と再びつながりが持てるようにPTAも一緒に改善していきたい。 ・対話から始めることが探求型学習の始まりであり、地域の方々の対話をする、おのずと探求型につながる。	学校見学会や説明会への参加人数が年々増加している。管理連携グループや各教科、部活動生徒の協力を得て、受験者数の維持に繋がっている。ほぼ予定通りに行われた学校行事を、来年の学校説明会等で紹介していく。 来年度に向けての新羽高校の魅力と特色をさらにPRしていく	本校の魅力特色をさらに追及し、安定した学校生活や活発な学校行事や部活動の更なる発展を目指す。他グループとの連携を密にして本校の特色を追求していく。 ポスターやパンフレットの内容等の更なる発展を目指す。 学校説明会の内容の精査を図る。
5	学校管理 学校運営	①学習環境及び生活環境の見直しとさらなる整備を目指す。 ②学校運営のさらなる効率化と事故不祥事防止に取り組む。	①ICT推進センターと連携し、コロナ禍においてモニターを活用していく。 ①生徒が集中して学習に取り組めるように、教室環境を整える。 ②管理職と連携をして職員の事故防止に務める。 ②定期試験や成績処理において事故防止に努める。	①消毒や清掃用具の小まめな補充と教室や廊下の蓋つきごみ箱の設置。 ①PTAとの連携を追求し、教室内の生徒用ロッカーの交換を進める。 ①体育館改修工事に向けての準備。 ②不祥事防止会議や研修会、朝の打合せ等での意識の高揚と点検作業の徹底を図る。	①在校生や職員のコロナ感染への不安を少しでも軽減できたか。 ①生徒や職員への声掛けや申し出に応えることができたか。 ①生徒用ロッカーを交換することができたか。 ②不祥事0を達成できたか。	①夏休み明けに各教室へ蓋つきのごみ箱(ベクトボトル用、ビンカン用)を設置した。 ①秋にPTAと生徒との懇談会を予定している。ロッカーに関しては検討中。 ①体育館改修工事に関しては、県からの予定が変更となり、現在ストップしている。 ②不祥事防止会議及び研修会を通じて、職員の不祥事防止意識の涵養を図ることができた。定期試験や成績処理で確認・点検を徹底し事故を防止した。	①廊下やラウンジ等のごみ箱の必要性を今後検討していく。 ①生徒会生徒とPTAが何をポイントとして捉えて意見交換できるか、今後詰めていく。 ①体育館改修に関しては、情報収集し計画を立てていく。 ②個人情報における点検の仕方に一部不備があり、点検方法を見直した。研修会における自主点検を失念する職員がおり、周知の仕方の改善を図った。	・モニターを使用した授業が定番化している。 ・高いお金を払って一人一台PCを購入しているので、しっかりと活用してもらいたい。	①コロナ感染から平常生活へ戻った時の、清掃についての再考が必要である。 ①2回にわたって、PTAと生徒会幹部生徒との意見交換会を行った。今年を持って、校内のすべてのトイレの全面改修とエアコンの交換ならびに新規整備が行われた。 ②定期試験や成績処理の際に手順や点検方法などを改めて徹底するとともに、発生した事例等を形式毎に明らかにすることによって再度の発生を未然に防ぐことに努めた。	①校内美化を追求していく。業者によるトイレ清掃を定期的に行う。 ①今まで以上に、PTAとの関係を密にし、学校の一体感を目指す。 来年度は、生徒用ロッカーの交換を目指したい。 体育館改修工事計画が延期となり、今後も時間をかけて準備を進めていく。 ②今後とも事故防止について、職員の意識を高めていくとともに、点検手順等を常に見直していく。